



# 社会科学研究部報

令和5年8月2日

浜松市教育研究会 社会科学研究部

## 令和5年度 第1回社会科教材研究部 研修会

7月5日（水）に初生小学校にて、帝国書院のデジタル教科書版を体験したり、国土地理院のウェブサイトを用いた授業での活用方法を考えたりする研修会を行いました。

### 1 明日の授業で使える実践例、タブレットを効果的に用いた授業案づくり

○帝国書院のデジタル教科書について

村櫛小学校 教諭 栗野 高史

帝国書院のホームページから、地図帳のデジタル版を体験することができる。地図クイズに取り組むことで学数意欲を高めたり、統計資料を表や円グラフで詳しく見たりすることができる。体験版のため10分間しか操作できないが、様々な資料が提示できるため、各校で積極的に活用し、よりよい活用方法について研修を積んでほしい。



【デジタル版地図帳】

○国土地理院のウェブサイトについて

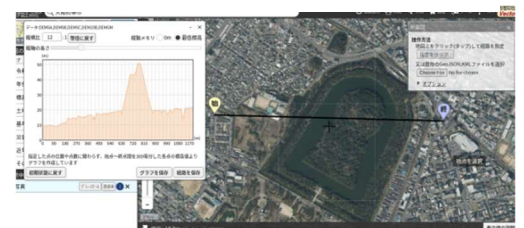
瑞穂小学校 教諭 藤崎 卓

国土地理院のウェブサイトでは、地理院地図を閲覧することができる。年代別の航空写真もあるため、今の様子と昔の様子を2画面で比べ、土地の様子の違いに着目させることができる。3年生の「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」の学習では特に、効果的な資料として活用が期待される。



【今と昔の地図の2画面比較】

また、断面図や3D地図を用いて高低差を調べたり、複数地点間の距離を測定し、物流や通勤交代の資料として活用したり、白地図を作成したりすることもできる。社会科はもちろん、生活科や総合的な学習の時間にも便利な様々な機能がある。各校で周知し、積極的に活用してほしい。



【仁徳天皇陵古墳の断面図】

### 2 顧問校長 指導・助言



二俣小学校 校長 大石 昌人

本日の研修会では、「すぐ使える」「明日の授業に役立つ」資料と学びがあった。地図帳には、地形、地名、方位、距離、面積、交通、産業、統計、防災など様々な情報が載っている。また、学習指導要領には、地図帳の扱い方に関して、学年ごとに指導事項がはっきり明記されている。地図帳を、学習の基本的ツールとして、国語辞典のように使えるように活用方法を考え、取り入れてほしい。そのためには、単元や題材に応じて、地図帳の活用を意図

的・計画的に指導していくことが必要である。今後の授業づくりに、ぜひ役立ててほしい。

（文責：伊佐見小 藤野亜弥・瑞穂小 藤崎卓）